

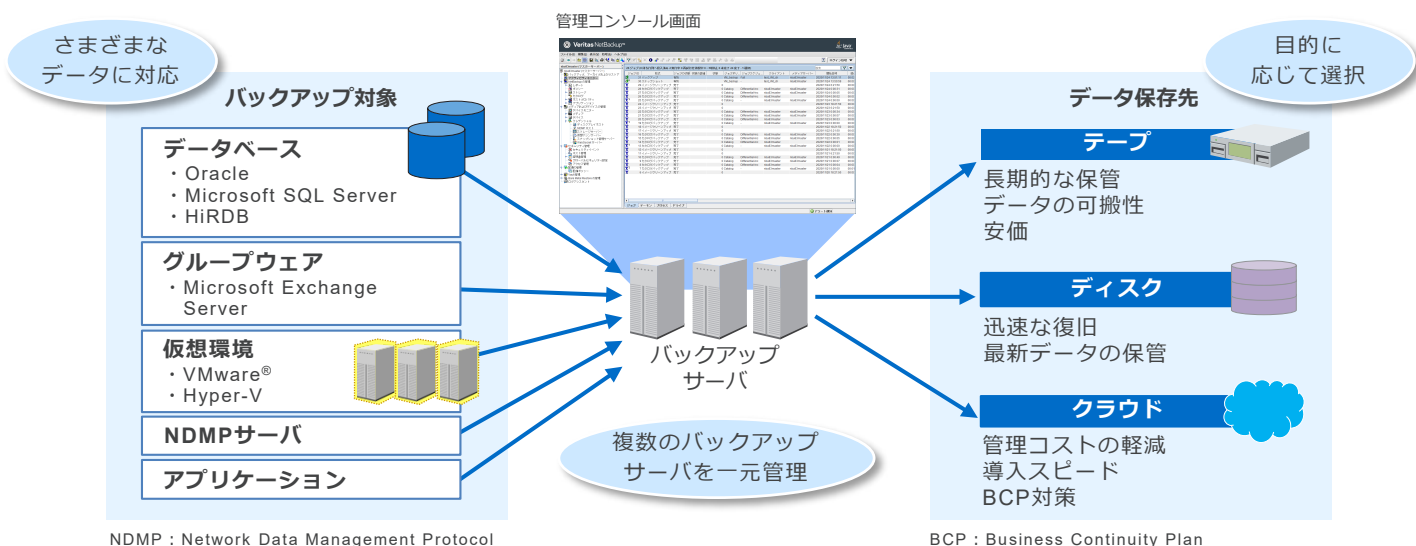
多様化するシステムを統合的にバックアップし
データを守りたい

HITACHI
Inspire the Next

JP1/VERITAS NetBackup

JP1/VERITAS NetBackupは、Windows、Linux®、UNIXなどのマルチプラットフォームに対応し、仮想環境、データベース、アプリケーションなど幅広い範囲をカバーした統合バックアップを実現する製品です。

バックアップの実行から、テープ、ディスクストレージ、クラウドストレージへの保存まで、一連の作業をスケジュール設定して自動化できるので、人為的な作業ミスや作業漏れを防ぎ、確実にバックアップできます。変更があったデータだけをバックアップの対象とすることで、保管するバックアップデータの増加を抑制できます。また、暗号化したバックアップデータを自動複製して遠隔地に保管することで、万一、広範囲に影響が及ぶ障害や災害などが発生しても、バックアップデータを利用して短期間で業務を再開することが可能となります。



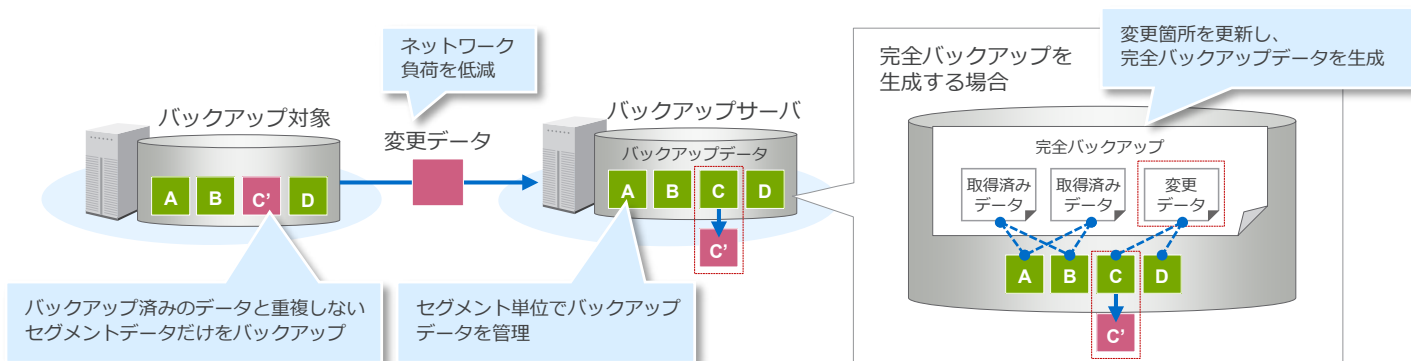
データ量を抑えて効率よく、高速にバックアップ

重複を排除してデータ量の増加を抑制

データをセグメント単位で管理し、バックアップ済みのデータと重複しないデータだけをバックアップします（重複排除方式）。変更があったデータだけをバックアップすることにより、バックアップするデータ量が少なく済むため、バックアップにかかる時間やネットワークの負荷を低減できます。また、バックアップサーバに保管するデータ量の増加も抑制できます。

完全バックアップデータをスピーディーに生成

通常は多くの時間を要する完全バックアップを、重複排除方式によって高速に実行できます。変更データをすばやく抽出してバックアップサーバに送信し、取得済みのデータと組み合わせて最新の完全バックアップデータを生成するため、通常の方法よりも大幅に生成時間を短縮できます。この完全バックアップデータでリストアを実行することで、運用を簡略化でき、復旧までの時間を短縮することが可能です。



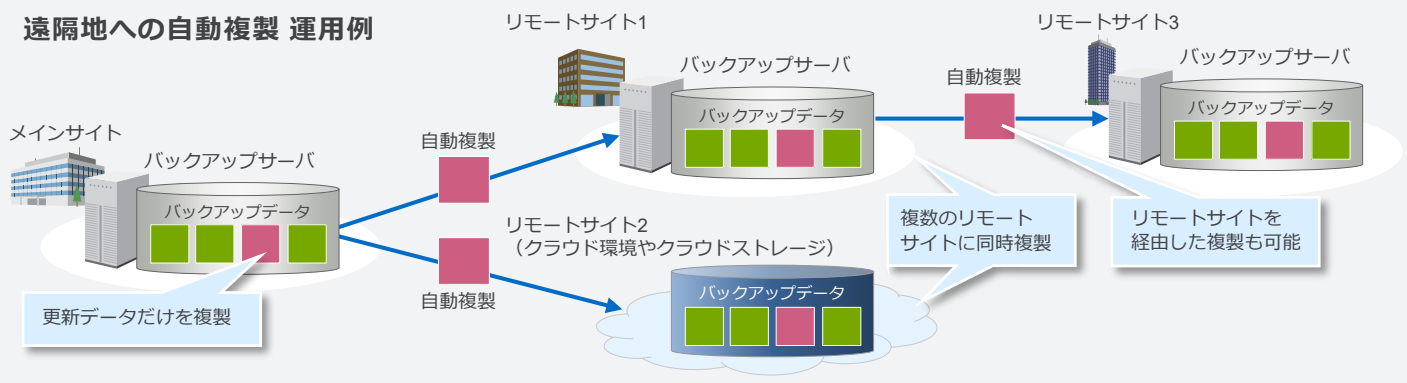
遠隔地への自動複製でデータを確実に保全

メインサイトのバックアップデータをリモートサイトに自動で複製できます。複数のリモートサイトへの同時複製も可能です。メインサイトのバックアップデータが破損・消失しても、リモートサイトに切り替えるの業務継続や、リモートサイトのバックアップデータを利用した早期復旧が可能となります。更新が発生したデータだけを複製して送信するため、ネットワークに流れるデータ量を低減でき、余計な負荷をかけません。

暗号化によるセキュリティ対策

データを自動で暗号化するため、バックアップサーバに転送中のバックアップデータをネットワークの不正アクセスから守ります。万一、メディアの紛失や盗難などが発生した場合でも、データ内容を読み取られるリスクを低減できます。データごとに暗号化する、しないを選択したり、暗号の強度を変えたりできるため、柔軟で安全性の高いセキュリティ対策が可能です。

遠隔地への自動複製 運用例



仮想環境のスムーズなバックアップ

VMware vStorage APIと連携してストレージ内の仮想マシンのイメージを直接バックアップできます。物理環境と同じ方法でのバックアップに比べて他の仮想マシンに負荷をかけず、業務にも影響を及ぼさずに、仮想環境の効率的なバックアップを実現します。

標準価格 (買い取りタイプ・Windows版)

製品名	標準価格 (税別)
JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Enterprise Server	1,004,700円*1
JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Drive Option (Library Based Tape Drive Support)	598,300円
JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Standard Client Option	118,600円
JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Enterprise Client Option	519,300円*1
JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Database Pack	259,600円*1
JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Agent for HIRDB License	235,300円*1
JP1/VERITAS NetBackup 8.3 SAP Agent	519,300円*1
JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Option (Data Protection Optimization 1TB) Special Edition	200,000円
JP1/VERITAS NetBackup 8.3 NDMP Option	699,900円*2

- *1 プロセッサ区分がTier1の場合の価格です。CPU数によって価格が変動します。
- *2 NDMPサーバの区分がTier1の場合の価格です。使用するNDMPサーバによって価格が変動します。
- ※ 使用する機能に応じた製品を入手していただく必要があります。また別途、媒体 (JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Media、3,000円 [標準価格 (税別)]) が必要です。
- ※ サポートサービスにつきましては、別途ご契約いただく必要があります。

※ JP1/VERITAS NetBackup 8.3のすべての機能 (JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Agent for HIRDB Licenseを除く) を使用できる容量ライセンスモデルとして、JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Platform Baseもお問い合わせいただけます。JP1/VERITAS NetBackup 8.3 Platform Baseには、製品の著作権とサポートサービスを1年ごとの契約でご利用いただける「サブスクリプションタイプ」もございます。

・本カタログで紹介するJP1/VERITAS NetBackupは、日本でのみ販売している製品です。JP1/VERITAS NetBackupとは、標準価格に記載している製品の総称です。

- ・Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・Microsoft、Hyper-V、SQL Server および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ・OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
 - ・SAP、および本文書に記載されたその他の SAP 製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々における SAP SE の商標または登録商標です。
 - ・UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
 - ・Veritas、Veritasロゴ、およびNetBackupは、米国およびその他の国におけるVeritas Technologies LLCまたはその関連会社の商標または登録商標です。
 - ・VMwareは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc. の登録商標または商標です。
 - ・その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。
 - 本カタログに記載している価格は、2021年1月現在の日本で販売する場合の標準価格です。
 - 本カタログに記載している単位表記は、1TB (テラバイト) = 1,099,511,627,776バイトです。
 - カタログに記載の仕様は、製品の改良などのため予告なく変更することがあります。
 - 製品の色は印刷されたものですので、実際の製品の色調と異なる場合があります。
 - 本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
- なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

製品に関する詳細・お問い合わせは下記へ

■ 製品情報サイト

<https://www.hitachi.co.jp/jp1/>

■ インターネットでのお問い合わせ

<https://www.hitachi.co.jp/soft/ask/>

■ 電話でのお問い合わせはHCAセンターへ

☎ **0120-55-0504** 受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00(土・日・祝日・当社休日を除く)

